

特定非営利活動法人
 **日本システム監査人協会報**

2010年8月発行
 No **114**

～システム監査を通じて、ITと経営の融合とビジネス課題の解決を支援する～
 日本システム監査人協会 電子版 <http://www.saaaj.or.jp/>

◆ ◆ HOT TOPICS ◆ ◆

【本号の掲載内容】

- ◇ 目次・表題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 電子版記事 1-3
- ◇ めだか 監査人のコラム(投稿)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5-6
- ◇ 月例研究会、実践セミナー、支部研究会等、開催報告・・・ 7-9
- ◇ 全国のイベント・セミナー情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-3
- ◇ 会員限定記事(紹介)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-3

◆ ◆ めだか ◆ ◆ 監査人のコラム(投稿)

【日本振興銀行メール削除事件】

同行に関連する記事が、新聞、週刊誌にあふれている。問題は多そうであるが、金融庁の検査を忌避する手段として、銀行内メールの削除が報じられている。

日本で電子メールが使われ始めた数年間は、「電子メールは改変できる、電子メールに刑事、民事上の証拠能力ありや」が議論された。数年前、改変された電子メールにだまされた・・・

【続きはこちらで読めます】 <http://www.skansanin.com/saaj/>

【15万台Windows2000サーバの行く末】

新聞社の報道によると、米マイクロソフト社がサポートを終了したWindows2000サーバの残存設置数は15万台に上るといふ。これだけの台数が販売中止後、またサポートの中止後も健在であるといふことは、優れた品質の成果である、という見方もできよう。一方で、この1年間の障害発生、とくにセキュリティホール・・・

【続きはこちらで読めます】 <http://www.skansanin.com/saaj/>

コラムは、投稿者の個人的な意見表明であり、SAAJを代表する見解ではありません。

| ◇◆ 注目情報(8/1～8/31) ◆◇

- ◆ Facebook誕生秘話を描く映画「ソーシャル・ネットワーク」！予告編動画が公開に
【詳細はこちら】<http://www.rbbtoday.com/article/2010/07/31/69541.html>
- ◆ au、未成年の携帯フィルタリングサービス非加入に書類提出を義務づけ
【詳細はこちら】<http://www.rbbtoday.com/article/2010/07/30/69538.html>
- ◆ フィルタリング使っていないが過半数——中学受験生のネット事情
【詳細はこちら】<http://www.rbbtoday.com/article/2010/06/25/68672.html>
- ◆ KDDI、CGM事業者向け年齢認証システムを2010年内に提供か ～ “公式サイト健全化”の一環
【詳細はこちら】<http://www.rbbtoday.com/article/2010/07/23/69337.html>
- ◆ 高齢者の安否をメールで連絡、ALSOK「見守り情報配信サービス」
【詳細はこちら】<http://www.rbbtoday.com/article/2010/07/30/69537.html>

| ◇全国イベント・セミナー情報◇

■『SAAJメール通信 全国版』

システム監査に関連する最新情報を収集して、毎月発行しているメルマガです。

お申し込みは無料。職場の同僚の方には是非、ご紹介下さい。(SAAJ会員は登録不要です。)

《登録はこちら⇒ <http://www.skansanin.com/saaaj/> 》

■【東京・月例研究会8月】

「情報セキュリティ検証業務～「日本公認会計士協会IT委員会研究報告第39号」の解説～」をテーマに、有限責任監査法人トーマツ パートナー 和貝 享介様にご講演を頂きます。

『企業、中央官庁等のパブリックセクターでは、経営戦略、リスクマネジメントなどを配慮した情報セキュリティ対策の状況を一定の様式で公表するようになりました。これらの情報を読むとき、客観的信頼性をどこに求めればよいでしょうか。この情報セキュリティ検証業務について解説いただきます。

開催日は8月27日(金)18時30分より。会場は、お茶の水総評会館です。

【詳細、申し込みはこちら】<http://www.saaaj.or.jp/kenkyu/kenkyukai157.html>

【東京・月例研究会9月】開催日は9月28日(火)を予定しています。

■【東京・システム監査実務セミナー】

第16回システム監査実務セミナー受講者を募集開始しました。

「システム監査実務セミナー」(4日間コース 1泊2日X2回)です。

このセミナーは、当協会の事例研究会で実施したシステム監査普及サービスの事例を教材として、実践で得たノウハウを皆様と共有することを目標にしています。

【詳細、申し込みはこちら】<http://www.saa-j.or.jp/kenkyu/jitsumuseminar16.html>

■【近畿支部セミナー】

日本システム監査人協会 近畿支部では、地元で参加できると好評のシステム監査の実践講座を開催しています。

企業活動の中でITの役割はどんどんと大きなウエイトを占めてきています。

内部統制という面から見てもシステム監査は重要ですね。

内部監査に携わられる役員様、ご担当様にも好評です。

システム監査入門セミナー(1日コース)は、費用面でも内容面でもとってお値打ちなセミナーです。

システム監査の概要が学べます。日程等の詳細は、【続き】を確認ください。

※9月21日開催「システム監査課題解決セミナー」は申込受付中です。

※9月25日-26日開催「システム監査実践セミナー」は申込受付中です。

【続きはこちら】<http://www.saa-j.or.jp/shibu/>

◇◆ 会員限定記事(8/1~8/31) ◆◇

【本部・理事会議事録】(会員サイトから閲覧ください。パスワードが必要です)

- 1)5月の理事会の議事録
- 2)6月の理事会の議事録
- 3)7月の理事会の議事録

■発行：NPO法人 日本システム監査人協会 会報編集部

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-8-8共同ビル6F

■ご質問は、下記のお問い合わせフォームよりお願いします。

【お問い合わせ】<http://www.saa-j.or.jp/>

Copyright (C) 2010、NPO法人 日本システム監査人協会、

掲載記事の転載は自由ですが、内容の改変は行わず、出典を明記していただくようお願いします。

会報電子版の記事

目次

1. めだか (システム監査人のコラム)
 - 【日本振興銀行メール削除事件】
 - 【15万台Windows2000サーバの行く末】
2. 近畿支部主催 システム監査入門セミナー(1回目)を開催して
3. 第16回システム監査実務セミナー受講者募集のご案内

【日本振興銀行メール削除事件】

投稿

同行に関連する記事が、新聞、週刊誌 にあふれている。問題は 多そうである が、金融庁の検査を忌避する手段として、銀行内メール の削除が報じられている。

日本で 電子メールが使われ始めた 数年間は、「電子メールは 改変できる、電子メール に刑事、民事上の証拠能力ありや」が議論された。

数年前、改変された 電子メールに だまされた 国会議員がおり、それをかばった 政党の代表 が辞任した 事件もあった。改変された 電子メールの コピーをみれば、いかにも怪しく、あるいは IT に詳しくない 国会議員は、多忙では あっても IT 専門家の助言を求めれば、破局 には 至らなかったであろう。もっとも、当時、IT 専門家でなくとも、「あれは 怪しい」といっている人は いたようであるが。

今、電子メールは 改変されている形跡 がなければ、立派な証拠となる。

で、日本振興銀行の行内メール 削除事件である。

当初の新聞報道では、検査妨害のため、多くのメールが、個々の端末からではなく、メールを制御しているサーバから削除されているといわれていた。

銀行全体で故意に削除しようとするれば、そうなるであろう。

しかし、検査当局が、多くのメールが削除されていると見た 根拠は 何であったのだろうか。

検査対象期間の疑わしい 取引の担当者の メールを時間順に並べて、通常 の時間帯にあるべきメールが欠けている、などと判断したのであろうか。

しかし、こんな素朴な方法では、いかに優秀な検査官でもなかなか見つけることは 難しい。

メール は、銀行から発信されても、取引先には 受信されている。検査当局は、取引先への強制立ち入りはできなくても、協力要請はできよう。受信先を調べれば、発信元で 削除されたメールは 復元できる。

こういう方法で削除されたメールが指摘されたのか。

しかし、こういう検査工程は、新聞報道からはうかがえなかった。

その後、一部の新聞報道では、

「サーバからは、削除されていたが、取引担当者の端末の消し忘れていたフォルダから見つけた」とあった。

特定取引先の重要なメールは、一般の送受信トレイに混ぜておかず、何らかの特定フォルダにまとめておくことは、普通のビジネスマンならやるであろう。

しかし、大量のメール削除があることを解決した話としては、ややでき過ぎている。

つまり、検査当局は、大量に削除されたメールがあることを想定して、探しているように見えるのである。

一部の週刊誌の記事では、銀行の元職員からの内部告発があり、不正な取引、それを記したメールの削除などが通報されていた、という。

これなら、わかる。

法律違反の疑いのある取引をしていれば、まともに検査を受けるのは辛い。

どうにかごまかそうとして、検査妨害に走れば、その方がもっと辛いことはわかっているはずであるが、「わかっちゃいるけど、やめられない」のであろう。

元都市銀行の内部刷新で活躍した人が、日本振興銀行の社長に就任した。

社長だけ代わっても、ここまで傷の深い銀行の再生は可能であろうか。今後を見守っていきたい。以上

(左平次)

【15万台Windows2000サーバの行く末】

投稿

新聞社の報道によると、米マイクロソフト社がサポートを終了したWindows2000サーバの残存設置数は15万台に上るといふ。これだけの台数が販売中止後、またサポートの中止後も健在であるということは、優れた品質の成果である、という見方もできよう。

一方で、この1年間の障害発生、とくにセキュリティホールが発見に伴う修正ソフト(パッチ)の提供は次の資料の通り、ほぼ毎月、複数件の発生状況である。



マイクロソフト社の公開資料(左図)によると、Windows2000で発生したセキュリティホールが発見されて提供されたパッチは、この1年間で41回。現在稼働しているWindows製品は、12種類。(下図。 NjaroOffice 資料 2010.7)

修正パッチの適用具合によって、さらに種類は増える。周辺機器を利用するためのドライバソフトと業務ソフトウェアの組み合わせにより、業務に必要な環境を維持確保することを優先しているが、利用開始して10年経過し、老朽化は着々と進んでいる。

製品	発売	サポート期限	サポート期間
Win.NT	1995. 5	2001. 12. 31	6年7か月
Win.95	1995. 8	2001. 12. 31	6年4か月
Win.98	1998. 6	2006. 7. 11	約8年
Win.2000 server	2000. 3	2010. 7. 13	約10年
Win.2003 server		2010. 7. 13+	有償で2015.7まで延長
Win.2006 server		2013+有償延長可	
Win.2008 server		2013+有償延長可	
Win.ME	2000. 12	2006. 7. 11	約6年
Win.XP servicepack2	2001. 12	2010. 7. 13	約8年半
Win.XP servicepack3		2014. 4. 8	約12年の見込
Win.Vista	2007. 1	2017. 4. 11	約10年の見込
Win.7	2009. 10	2020. 1. 14	約10年の見込

MS社の資料をもとにNjaro Officeが調査

Windows製品には、サーバ用、個人用とそれぞれの用途に応じて複数のバージョンが稼働している。企業のシステム管理者は、この数年間、増え続けるOS、ソフト、バージョンの種類と、それらの違いを標的にした攻撃に悩まされてきた。今後は製造者に対応を任せることも、修復を委託できる業者や技術者を確保することも難しくなる。業務の継続に影響するシステム化の基盤として、どの技術を採用し、いつ変更、切り替えていくかという情報化戦略(経営企画)の監査は、まだまだ不十分。

変更管理どころか現状維持を続けてきて、いつまで維持できるか、秒読みに入っている企業も多いのではないだろうか。有効な対策を行わず先送りして現状維持だと思ってい、周りの環境が変化している。変化に対応していることが現状維持(サービス機能の維持)であって、変更対応できていない状態は陳腐化と言わざるを得ない。 以上(唐辛子)

(このコラム文書は、投稿者の個人的な意見表明であり、SAAJの見解ではありません。)

近畿支部主催 システム監査入門セミナー(1回目)を開催して 広瀬 克之

平成22年6月12日(土)近畿支部年間計画に従って、システム監査入門セミナー1回目を開催しました。入門セミナーは昨年初めて開催し今年は 2年目となります。会場は昨年同様大阪駅から歩いて10分強にある常翔学園で、ゆったり利用できる広い会議室で7名の方を迎えて実施しました。

昨年は午後1時からの開催で、大変あわただしい1日でしたが、その反省のもとに今年は10時からの開催で十分セミナーの価値を感じて頂けるようにしました。まず最初にスタッフの紹介、参加者のみなさんの自己紹介を行い早速講義に入りました。午前はず三橋氏の講義「システム監査概要」で”システム監査とは” という初歩的な解説から、どのようにシステム監査を実施していくのか、その手順を簡単に説明しました。

続いて岡谷氏による監査体験実習です。チーム単位で実施するシステム監査の手順を、利用するワークシートを用いて具体的に解説され、すぐにチーム単位でヒアリング内容の整理に入って頂きました。(事例は大手流通業における主にシステム運用に焦点をあてた監査体験となっています)

ヒアリング内容の整理後、昼の休憩をはさみヒアリング模擬としてシステム課長役の是松氏、スーパー店長役の荒町氏に、それぞれ受講者から構成する監査チームが30分程度のヒアリングを実施する体験を行いました。課長役、店長役ともシナリオに従った役作りをこなされ、受講生にとっては臨場感のある体験となったのではないかと思います。

ヒアリング後は、監査指摘事項をチーム内でまとめ最後に報告という段取りとしました。各チームであらかじめリーダー役を決め、リーダーを中心に活発に議論され報告も的を得た内容となっております。

最後に今回の監査事例について、どのように考えて進めるか一つの例を説明し、アンケートを作成して修了となりました。 アンケートは4段階評価で実施しましたが、満足度の高い方、まずまずの満足度の方と別れ、貴重な意見をいただいておりますので次回に向けた参考とし、2回目はさらに内容をブラッシュアップして臨みたいと思います。

本セミナーをリーダー三橋氏、詳細な教材を作成・講義頂いた岡谷氏、ヒアリング担当された是松氏、荒町氏、またご支援いただきました支部長、副支部長の皆様ごくろうさまでした。また、ありがとうございました。



研修会の風景 1

「システム監査入門セミナー」(1回目)を受講して

山本 全

メーカー勤務で社内システムの開発と運用を担当している私にとって、J-SOXなどで監査を受ける経験はそれなりに積んだが、監査を行う立場に立ったことは一度も無かった。今回のセミナーでは監査人としての立場を疑似体験できる良い機会ということで参加させていただいた。

長時間のセミナーではあったが講義内容とテキストは大変わかり易く、グループ演習に入ればあっという間に時が過ぎる。そしてこのセミナーの最も面白い所は監査インタビューと監査報告のパートであろう。講師スタッフの方々に監査対象会社の各責任者役を演じていただくのだが、これが実にリアル！私は監査人チームのリーダーとして臨んだが、皆さん完全に役になり切っていて本当に自分が監査報告の場に立たされているかのような、臨場感溢れる体験をすることができた。システム監査とはどういうものか、これから学んでいく人にこそ薦めたいセミナーである。



研修会の風景 2

システム監査入門セミナー(1回目)を受講して

竹内 久雄

以前からシステム監査に興味があり、システム監査を肌で感じ取ってみたいという理由から、今回はじめて監査入門セミナーに参加させていただきました。

参加者でチームを組み、与えられた課題に基づいて模擬監査を行っていく内容でした。被監査会社側の担当者に対する質問をどのような内容するのか、監査報告書はどのように書けばよいのかで悩みましたが、チームのメンバーにも助けをもらいながら進めていくことができました。実際に模擬監査を経験することでシステム監査の奥深さを知ることができて有意義でした。今後も、当会が主催するセミナーに参加することでシステム監査の知識を身につけていきたいと思います。

第16回システム監査実務セミナー受講者募集のご案内

日本システム監査人協会では、設立目的のひとつである「システム監査人の実務能力の維持・向上」のため、毎年数回、実践的なセミナーを開催しています。

今回のセミナーは、当協会が既に15回の開催実績を重ねる、「システム監査実務セミナー」(4日間コース 1泊2日X2回)です。

このセミナーは、当協会の事例研究会で実施したシステム監査普及サービスの事例を教材として、実践で得たノウハウを皆様と共有することを目標にしています。

システム監査の実際を体験してみたい方やシステム監査技術者試験には合格したもののシステム監査参加機会のない方は、この機会を利用してシステム監査の実際を経験し、システム監査能力の向上を図りましょう。

なお、このセミナーを受講し、事後課題を提出頂きその内容が適切と判断された場合には、当協会が認定する公認システム監査人の必要なシステム監査実務を1年間経験したものとみなされます。

本セミナーは、ITコーディネータ協会の「専門知識研修コース」(5.5ポイント相当)に認定されています。

1. 日程及び会場

平成22年8月28日(土)～29日(日)

平成22年9月11日(土)～12日(日) <1泊2日×2> どちらか一方のみの参加は不可

時間:土曜は10:00～21:00、日曜は09:00～16:00

(進行状況により若干の変更が生じる場合があります。)

会場:晴海グランドホテル

〒104-0053 東京都中央区晴海3-8-1

電話番号: 03-3533-7111

(最寄り駅 都営地下鉄大江戸線勝どき駅下車徒歩8分)

2. 費用 168,000円(日本システム監査人協会会員)

189,000円(一般)

(費用には、教材費・宿泊費・食事代・消費税が含まれます。)

3. 受講していただきたい方

情報処理技術者(システム監査) 資格保有者もしくは同等の知識を有する方。

4. 募集人員 定員20名(最少催行人員10名)

5. 受講申し込み方法

以下のURLからお申し込みください。

<http://www.saa-j.or.jp/kenkyu/jitsumuseminar16.html>